

議 事 録

会 議 名	令和5年第4回名東警察署協議会（定例会）																				
日 時 ・ 場 所	令和5年12月14日（木） 午後1時25分から午後3時15分までの間 ----- 名東警察署講堂																				
出 席 者	<p>1 委員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">加藤 文雄 会長</td> <td style="width: 50%;">寺田 信 副会長</td> </tr> <tr> <td>伊勢 秀明 委員</td> <td>太田 英樹 委員</td> </tr> <tr> <td>大塚えり子 委員</td> <td>勝 律子 委員</td> </tr> <tr> <td>鈴木 宏光 委員</td> <td>中込 善雄 委員</td> </tr> <tr> <td>水野 義則 委員</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上9名（定数10名）</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">花木署長</td> <td style="width: 50%;">外狩副署長</td> </tr> <tr> <td>岡本警務課長</td> <td>山田会計課長</td> </tr> <tr> <td>高松生活安全課長</td> <td>竹村地域課長</td> </tr> <tr> <td>中村刑事課長</td> <td>早瀬交通課長</td> </tr> <tr> <td>正木警備課長</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上9名</p> <p>-----</p> <p>3 有識者等 なし</p>	加藤 文雄 会長	寺田 信 副会長	伊勢 秀明 委員	太田 英樹 委員	大塚えり子 委員	勝 律子 委員	鈴木 宏光 委員	中込 善雄 委員	水野 義則 委員		花木署長	外狩副署長	岡本警務課長	山田会計課長	高松生活安全課長	竹村地域課長	中村刑事課長	早瀬交通課長	正木警備課長	
加藤 文雄 会長	寺田 信 副会長																				
伊勢 秀明 委員	太田 英樹 委員																				
大塚えり子 委員	勝 律子 委員																				
鈴木 宏光 委員	中込 善雄 委員																				
水野 義則 委員																					
花木署長	外狩副署長																				
岡本警務課長	山田会計課長																				
高松生活安全課長	竹村地域課長																				
中村刑事課長	早瀬交通課長																				
正木警備課長																					
諮 問 事 項 等	高齢者の交通事故防止																				
答 申 等 の 概 要	<p>○高齢者に伝わりやすい手段・方法による広報 社会全体で防止するため幅広い世代への広報活動の充実</p> <p>○道路管理者等と連携した交通環境の整備</p>																				
そ の 他	次回開催予定 令和6年2月頃																				

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長挨拶
2	署長挨拶等
3	前回の答申に対する具体的施策の推進状況
	(1) 諮問事項
	特殊詐欺の被害防止に向けた取組について
	(2) 答申事項
	ア 高齢者に情報が届く活動の強化
	・関係機関、団体等と連携した高齢者の身近における広報・啓発活動
	イ 幅広い世代に周知させる取組の強化
	・幅広い年代に向けた広報活動
	・金融機関、コンビニエンスストアを対象とした特殊詐欺を想定した防犯訓練の実施
	(3) 推進施策（生活安全課長説明）
	ア 答申事項アについて
	(ア) 区役所、いきいき支援センター等と連携し、高齢者サロンの代表者が集まる場において特殊詐欺の現状などの情報を発信するとともに啓発を行った。
	(イ) 名古屋市認定の高齢者サークルにおいて、特殊詐欺の被害防止講話を行い注意を呼びかけた。
	(ウ) 敬老の日を迎えるに当たり、当署において、ヤギを一日警察署長に委嘱するとともに、管内の幼稚園児と高齢者を招き、園児が高齢者に対し、特殊詐欺への注意喚起や交通安全に関する手紙を渡すイベント
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
を行った。	
(I) 高齢の方自身が高齢者に訴えかける啓発活動として、猪子石コミュニティセンターにおいて90歳のハーモニカ奏者が特殊詐欺被害防止の替え歌を来場者と歌いながら注意を呼び掛ける活動を行った。	
イ 答申事項イについて	
(ア) 家電量販店においてクイズ形式のトークショーを行い、若者を中心に広報及び啓発活動を実施した。	
(イ) 大型商業施設店内において高齢者に特殊詐欺の注意を促す企画として孫世代から祖父母へ手紙を書いてもらうイベントを実施した。	
(ウ) 名東図書館において落語経験のある署員による防犯と交通安全が随所に触れられる落語を披露し、幅広い世代に向けた啓発を行った。	
(I) 管内の金融機関、コンビニエンスストアを対象とした防犯訓練を実施した。	
4 諮問	
(1) 諮問事項	
高齢者の交通事故防止	
(2) 諮問事項の設定理由（生活安全課長説明）	
当県における令和5年10月末までの交通事故死者数は123人であり、前年比プラス12人、全国ワースト1と危機的な状況であり、更に同死者数に占める高齢者の人数は59人（前年比プラス10人）と、全死者数の半数近くと非常に大きな割合を占めている。	
名東区については、令和5年中に交通死亡事故はいまだ発生していない	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨
<p>ものの人身事故については10月末現在で249件291人（前年比プラス13件、プラス18人）と増加していることに加え、高齢者の負傷者については、55人と昨年の32人から大幅に増加している状況である。</p> <p>よって、今回は「高齢者の交通事故防止」を議題とし、高齢者を被害者にも加害者にもしない・させない交通事故防止対策等について、委員の皆様様の忌憚のない御意見をお願いしたい。</p>
5 協議
<p>委員 ・ 私も後期高齢者で身につまされる思いがある。加害者になっても被害者になってもいけないので、何らかの手立てを見つけたいと思う。</p>
<p>委員 ・ 私も70歳代となり体調が悪く車の運転を控えている。年を重ねるごとに頭で考えているような操作ができなくなり、車の運転でも注意散漫になる。</p> <p>運転免許更新時に頭の考えと体の動きについて説明するなどすれば高齢者の意識が少しは変わるのではないだろうか。</p>
<p>委員 ・ 交通事故の被害者にならないためには、キャンペーンなどで</p> <p>○高齢者は明るい時間帯に用事を済ませる</p> <p>○夜は黒い服を着ないようにする（明るい視認性の良い服装にする）</p> <p>○横断歩道でない所を渡らないようにする</p> <p>等の講話をすると良いと思う。</p>
<p>委員 ・ スマートフォンのアプリで交通事故が多い場所に交通事故多発地域と表示されると分かりやすく事故防止を推進できると思う。</p>
<p>委員 ・ 法的にある年齢を超えたらアシスト付きの車に乗る、免許更新期</p>
<p>記録者</p>
<p>警務係長</p>

会議の経過及び発言の要旨	
間を短くすることが必要かと思う。	
委員	・ 飲酒運転が減ったのは、みんなの意識が高まったのではなく、最終的には厳罰化だと思う。
交通事故防止のキーワードは「過信」であると思うが、過信を取り除くのはとても難しい。	
またアクセルとブレーキの踏み間違い防止機能付きの車があるが、高齢者事故防止の的を射ているのではと思った。	
委員	・ 私も後期高齢者で、最近、左右の確認が見えづらくなり、反射神経も衰えてきていることから、気を付けないといけないと自分に言い聞かせている。また助手席に妻を乗せる場合は、いつも妻に左側の安全確認を依頼しているが、それでも危ない場合がある。
委員	・ 私は自動車関係の仕事をしているが、以前店舗で、高齢女性が、車検のため乗りなれていない代車を運転中にアクセルとブレーキを踏み間違えて、交通事故を起こしてしまった。
社内で、高齢者等に対しては、より丁寧な運転操作説明、車両誘導等の再発防止策を検討した。	
委員	・ 飲酒運転が劇的に減ったという印象等は、徹底的な取締り等を重点的にやっていたこともひとつあると思う。
人、車、自転車が行き交う交差点での警察官による積極的な声かけや取締り、高速道路の逆走、誤侵入防止等のため、高速道路の入口付近やサービスエリア内での一口広報等が、印象付けとなり、交通事故の防止になるのではないかと。	
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
委員	・ 以前名東区のイベントで、交通安全教育車両の中に認知・判断・動作能力を診断するとして反射神経をテストするゲーム機器（ランダムに光るボタンを素早く認識して押すもの）があり、私は思ったより出来が良くなって、年とともに反射神経が落ちていることを自覚した。
	・ 誰もが持っているスマートフォンで気軽にできる交通安全ゲームアプリを開発すると良いのではないかと思った。
委員	・ 私は、自動車学校で高齢者の方の講習を行っているが、現在実施している講習や検査は高齢者の方には内容が伝わりにくいというのが現状で、理解しやすいように伝え方を考えたほうが良いのではないかと思う。若い人にはSNSなどという方法もあるが、高齢者には使えない方もいるので、どう伝えるのかを考えることも高齢者事故防止にもつながるのかと思う。
委員	・ このような検査を受けることによって本人に気付かせる、自覚させるということが大切だと感じた。
委員	・ 警察官が高齢者の事故や違反等を認知した際、運転することが適切でないとは判断される場合には、警告等をしてほしい。そのことによって免許証の自主返納や事故の未然防止に繋がると思う。
委員	・ 交通事故の被害者にならないためには、歩行者は服装に気を付けること、自転車はヘルメットを着用することなど高齢者に限らず、社会全体で幅広く啓発することが大事である。
6 答申	
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
(1) 高齢者に伝わりやすい手段・方法による広報			
社会全体で防止するため幅広い世代への広報活動の充実			
(2) 道路管理者等と連携した交通環境の整備			
7 その他			
次回開催予定は、令和6年2月頃とする。			
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1131 1955 1133 2020">記録者</td> <td data-bbox="1133 1955 1428 2020">警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		